

主題について

指導者 面迫 美都代

ねらいとする価値

本主題は、低学年内容項目C-(12)「働くことのよさを感じて、みんなのために働く」を深めることを意図したものである。生きていく上で、自分の仕事に喜びと誇りをもち、生きがいをもって仕事を行えるようにすることはとても大切なことである。働くことは、日々の糧を得るためだけでなく、働くこと自体が自分に課された社会的責任を果たすという意味においても重視する必要がある。この時期の児童は、みんなのために働くことを楽しく感じている児童が多い。その実態を生かして、人の役に立つ嬉しさ、やりがいや自分の成長などを感じられるようにすることが大切である。

児童の実態

- ① 児童は10月に「親切、思いやり」の内容項目で、相手の立場に立ってその心情を思い、自分のこととして受け止めることの大切さを学習している。
- ② 本学級では、係や当番の仕事に興味をもち、みんなのために働くことに楽しさを感じている児童が多いが、責任をもって最後まで仕事をやりきることができない児童もいる。
- ③ 道徳科の時間では、自分の考えを積極的に述べることができる児童がいる一方で、自分の考えはもちながら友達の考えを聞くことに終始している児童もいる。

教材について

ひろきが母親から風呂掃除を教えてもらって、一人でも上手にできるようになり、自分の仕事をする。仕事のこつをつかむことで自分の成長を感じたり、父親や母親に褒めてもらうことで家族の役に立つ喜びを感じたりするなど家族の一員として働くことのよさや大切さを感じられるようにしたい。また、日頃の自分の生活と重ね合わせて考え、「家族のために」から「みんなのために」と、発展させて考えられるようにしていきたい。

考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

道徳的な観点の心情のたかまりや変化をとらえられるように、場面絵を提示しながら、読み聞かせをしていくようにする。導入では、2学期の生活科で行った「じぶんでできるよ」や係や当番活動などの体験を話題にし、ねらいとする道徳的価値への問題意識をもたせる。

展開前段では、やる気と不安が入り混じっている気持ちだったひろきが「おそうじのプロ」になったと感じたことから、仕事ができるようになった喜びが自信となり、自分の成長につながっていることに気付かせたい。中心発問では、お母さんとひろきのやりとりから、家族の一員として仕事が認められた時の気持ちを考えさせたい。その際、補助発問を行ったり、ワークシートの活用やペアトークの場を設定することで考えが深まるようにしたい。

展開後段では、体験活動後の保護者からの振り返りコメントや係活動の場面や掃除や給食当番の活動の場面を写真で提示し、家族やみんなのために働くとはどういうことかを考えさせたい。

○ 生活科や特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

多くの児童は、働くことに喜んで取り組むが、すぐに飽きてしまい、やる気を継続させて取り組むことができにくい。しかし、周りの人からの感謝の言葉を伝えてもらうことで、働く喜びややりがいを実感でき、児童は成長のきっかけをもつことができると思われる。保護者に、通信や懇談会等で、取組のねらいや様子を伝え、児童のやる気が湧いたり根気が続いたりするような声かけをしてもらえるよう協力をあおぐ。学習シートには、おうちの人による他者評価を書き入れるようにする。また、学習前と学習後での自分の比較を取り入れ、「役に立つ嬉しさ」「仕事のやりがい」「自分の成長」が、見えて実感できる学習シートを作成する。生活科の「じぶんでできることをしよう」と関連を図って指導していく。また、係や当番活動において、道徳の時間に学んだ道徳的実践力を、日常の生活での実践につなげるようにする。

本時の学習

(1) 本時のねらい

自分に仕事を任されて喜ぶぼくの気持ちを分析的に考えることを通して、家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする態度を養う。

(2) 本時の学習展開

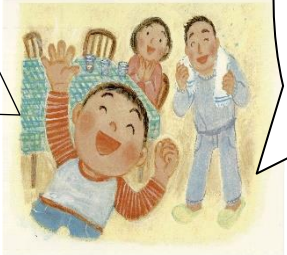
過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価
導入	<p>1 自分たちのお手伝いや係、当番活動について振り返る。</p> <p>○家族やみんなのためにどんな仕事をしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おふろそうじをしました。 ・くつ揃えをしました。 ・トイレ掃除をしました。 ・へや掃除をしました。 ・食器洗いをしました。 	<p>◇児童が認識しているお手伝いの様子について挙手させることで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> <p>◇道徳プログラムを活用する。 (生活科の「いえのしごと」の項目を確かめる。)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> みんなのためにはたらくよるこび。 </div>		
展開	<p>2 教材「ぼくのしごと」の話を聞いて考える。</p> <p>○お母さんに、「お風呂掃除一緒にやろうか。」と言われて、「ぼく」はどきっとしたとき、どんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくできるかな。 ・やってみたいな。 ・頑張ってみよう。 <p>○「お掃除のプロ」とは、どういうことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても上手にできること。 ・手伝ってもらわなくても上手にできること。 ・お母さんと一緒にしなくてもできること。 ・誰よりも上手にできること。 	<p>◇場面絵を貼りながら読み聞かせを進めることで、話の内容を把握しやすいようにする。</p> <p>◇心のメジャーを使って、心情を見とる。</p> <p>◇やる気と不安が入り混じっている気持ちであることを押さえる。</p> <p>◇上手にできるようになった喜びが自信となって、自分の成長につながっていることに気付けるようにする。</p>

展	<p>●「ぼく」は、どうして「やったあ。」と喜んだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人が喜んでくれたので嬉しい。 ・お風呂掃除が自分の仕事になったぞ。 ・頑張ってよかったな。 ・これからもお風呂をピカピカにするぞ。 	<p>□発問の工夫（分析的な発問）</p> <p>自分の仕事が認められた時の「ぼく」は「気持ちを分析的に捉えさせることを通して、みんなの役に立つ喜びを感じ、みんなのために進んで働こうとすることの大切さに気付かせたい。</p> <p>◇心のメジャーを使って主人公の心情の変化を見とる。</p> <p>◇ワークシートに書く活動に取り組みせ、自分の思いや考えをもった後、ペアで自分の思いを交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろきは、これからどうしようと思っているでしょう。（補助発問：共感的）
開	<p>3 これまでの自分の体験を振り返り、自分の仕事について考える。</p> <p>○みんなのために働いたことがありますか。その時、どんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜んでもらえてうれしかった。 ・頑張って掃除をして、きれいになって嬉しかった。 ・掃除が上手にできて、先生に褒めてもらって嬉しかった。 	<p>◇自分のことを見つめ直すことができるように、生活科の学習シートを活用させる。</p> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>係や当番活動、体験活動の経験をから、日々の生活の中で他の人の役に立つ喜びがあることに気付かせ、行動の価値付けをしていくことで、次への意欲につなげていく。</p> <p>◇学級で目立たなくてもこつこつ仕事をしている児童の様子や家庭での様子について保護者からのコメントを紹介する。</p> <p>*自分が行っている係や当番活動が人を喜ばせていることに気付き、自分も嬉しく思うことを通して、人のために働く意欲を高めているか。</p> <p>（発言・ワークシート）</p>
終末	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p>	<p>◇「自分の考えが変わったなと思うことがありますか。」「今日分かったことや友達のことを聞いてなるほどと思ったことはありますか。」を振り返りの視点として提示する。</p> <p>*自分にできることを見つけて、人のために働きたい、役に立ちたいという意欲を高めることができたか。</p> <p>（発言）</p>

(4) 板書計画

みんなのために

ひろきもひとりでちゃんと
できるようになったし、
きょうからひろきのおしごと
しましょうか。



「ありがとう」と言われた。
・ほめてもらった。
・よろこんでもらった。

ひろきがあらったお風呂、
ぴかぴかできもちいいね。

おそうじのプロ

・じょうずにできるよ。
・ひとりでもだいじょうぶだよ。
ピカピカにするよ。



どきとした

テーマ みんなのためにはたらく

お風呂そうじいっしょにやってみようか。

ぼくにできるかな。
・やってみないな。
・がんばるぞ。

やったあ。

・よろこんでくれた。
・うれしいな。
・がんばってよかった。
・かぞくのために。

しごと

かかり
にうちよく
きゅうしょくとうばん
そうじとうばん

ぼくのしごと

みんなのために

1/18
(月4)